

はじめに

本書は、循環器疾患、心臓血管外科疾患患者が入院する病棟、集中治療室に勤務間もない、1～2年目看護師を主な対象として企画・作成致しました。内科、外科、病棟、集中治療室と幅広く活用いただけるよう、臨床現場に即したエッセンスを盛り込んでいます。

出勤時に自分の受け持ち患者を確認した時、「ちょっと確認したい」、「あれ、これってどうなっているのかな?」という、少しモヤモヤした気持ちになった時、ぜひ手に取ってください。

一方、実地指導者など、後輩の指導にあたる看護師も活用できるよう、「後輩に何を簡潔に伝えることが、安全、安楽に看護ができるのか」という視点も含めています。時間に余裕がない時には、「ケア、観察のポイント」から読んでみることもオススメです。

使用物品の名称や用意するものなど、施設によって異なることがあるかと思えます。また、知識を得て経験を積むことで、本書の記載内容では少し物足りないと思うことも出てくるかと思えます。そのような時は、空欄に自分の気付きなどを書き込んでいただいき、「あなただけのオリジナル循環器内科・心臓血管外科ナースポケットブック」を作ってください。あなただけの本なので、本書を手にとったら名前を必ず書いて、日々読み返してください。

最後に、ご執筆いただいた榊原記念病院の医師、看護師、薬剤師、理学療法士の皆様に心より感謝申し上げます。チーム榊原が一つの形になりました。また、本書を手にとってくださる、循環器疾患、心臓血管外科疾患の診療や看護に携わる皆様からのご意見、ご指導をお待ちしております。そのフィードバックがさらに、日本の循環器医療、看護の発展につながると信じています。

2019年10月

公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院
副院長・主任看護部長
池亀 俊美